

サガン鳥栖 支援 アクションプラン Ver.2016



平成28年2月 ホームゲーム集客支援本部

はじめに

鳥栖市をホームタウンとするＪリーグ・サガン鳥栖は、「人づくり・まちづくり・夢づくり」の理念のもと、試合の勝ち負けだけを目的とせず、地域の人々に愛され、親しまれる、「地域に根差したスポーツクラブ」を目指して活動されています。

サガン鳥栖が誕生して19年。サガン鳥栖は、○ 地域愛の醸成 ○ 地域の活性化 ○ 知名度の向上 ○ スポーツの振興 ○ 地域間交流 ○ シティセールス など、鳥栖市のまちづくりに大きく貢献しており、鳥栖市にとって、今や、かけがえのない存在となっています。

鳥栖市とサガン鳥栖が、まちづくりのパートナーとして相互の効果をさらに高めていくため、ここに「サガン鳥栖支援アクションプラン Ver. 2016」を策定し、サガン鳥栖支援の取組を行います。

基本的スタンスとビジョン

サガン鳥栖支援アクションプランに取り組むにあたり、次のことを、鳥栖市の基本的スタンスとします。

基本的スタンス

- ◇ 鳥栖市は、プロサッカーチーム「サガン鳥栖」のホームタウンです
- ◇ 鳥栖市は、プロサッカーチーム「サガン鳥栖」に対して、Ｊリーグの理念に則り、公平性・平等性・透明性を基本とした「できる限りの支援」を行います
- ◇ 支援内容については、市民への説明責任を果たすことが基本です

ビジョン

- ◇ 鳥栖市は、サガン鳥栖支援の具体的取組みを率先して行い、その取組みをサガン鳥栖支援に関係する市民、団体等に提案し、「自分の立場でできるサガン鳥栖支援」を実行していただくことで、サガン鳥栖支援の輪を拡げていきます
- ◇ 鳥栖市は、プロサッカーチーム「サガン鳥栖」の支援にあたって、佐賀県プロサッカー振興協議会、(株)サガンドリームス等と連携して、効果的に取組めます

この基本的スタンス及びビジョンを内外で共有し、2016シーズンは、ホームゲーム集客支援本部を中心に、「サガン鳥栖支援アクションプラン Ver. 2016」に取り組めます。

取組内容

取組1 鳥栖スタジアム保全・改修事業

目的

全ての方にとって、安心・安全な試合環境を確保するとともに、国内において素晴らしいスタジアムと評価され続けることを目的に計画的な保全・改修を図る。

目標

緊急性の高いものから順次整備・改修を行う。

時期

平成28年度中（リーグ戦の日程との調整が必要）

取組2 クロスロード地域連携事業・鳥栖三養基地域連携事業

目的

クロスロード地域及び鳥栖・三養基地域との広域連携をベースに、関係市町と連携したサガン鳥栖支援を行うことで、集客数の底上げを狙うとともに、サガン鳥栖の「地域共有の財産」としての意識づくりを図る。

目標

◇ 関係市町ができるサガン鳥栖支援の実施

- ・年間シート・応援ポロシャツの購入、職員応援デーの実施、ポスター掲示 など
- ・筑後川流域クロスロード協議会の佐賀県プロサッカー振興協議会への加入

◇ 連携事業の実施

- ・共同観戦 ・図書館での期間展示 ・久留米市でのパブリックビューイングの開催

時期

2016シーズン中

取組3 ホームゲームおもてなし事業

目的

サガン鳥栖ホームゲームにおいてホーム&アウェイサポーターへのおもてなしを行うことでホームゲームの魅力を高め、リピーターを増やすことを目的とする。

目標

- ◇ 対戦カードのチームフラッグ掲揚
 - ・ 市役所、スタジアム、JR 鳥栖駅 ほか
- ◇ 観光 PR ブースの出展（アウェイ側）
- ◇ 市民デーにおけるホームサポーターへの特産品配布

時期

2016シーズン、ベストアメニティスタジアムにおいて開催されるホームゲーム全試合

取組4 市職員によるサガン鳥栖支援

目的

サガン鳥栖は、地域の宝であるとの認識のもと、市職員が率先してサガン鳥栖支援を行うことで、サガン鳥栖支援の輪拡大の呼び水とすることを目的とする。

目標

- ◇ 年間シート購入（前年比 UP）
- ◇ アウェイ応援ツアー（7/23(土)福岡戦）
- ◇ 市職員応援デーへの参加（前年比 UP）
- ◇ 管理職等によるシーズンカレンダー配布
- ◇ BS デー、スポーツ講演会への積極的な参加
- ◇ 職員サポーターの発掘・育成

時期

2016シーズン中

取組 5 新規採用職員によるサガン鳥栖支援

目 的

新規採用職員が、サガン鳥栖を地域の宝であると認識する機会を設けるとともに、新規採用職員の立場から率先してサガン鳥栖支援を行うことで、市内の支援気運をボトムアップで高めることを目的とする。

目 標

- ◇ 新たなサガン鳥栖支援の検討及び実施
- ◇ 鳥栖市公式ホームページ「サガン鳥栖」サイトの更新等
- ◇ ホームゲーム時のとっちゃん従事

時 期

2016シーズン中

取組 6 地域交流推進事業及びネーミングライツ企業特典事業

目 的

主に集客に関するサガン鳥栖支援の取組を効果的かつ効率的に行うことで、サガン鳥栖支援の輪拡大の呼び水とすることを目的とする。

目 標

- ◇ 地域交流推進事業の効果的取組み
- ◇ ネーミングライツ企業特典事業の効果的取組み

時 期

- ◇ 地域交流推進事業… ホーム開幕第2戦目 [3/12(土) ヴァンフォーレ甲府戦]
- ◇ ネーミングライツ企業特典事業… 2016シーズン中

取組7 (株)サガン・ドリームスとの連携事業

目的

サガン鳥栖に関わる者が共通認識を持ってクラブ支援に関する課題の解決にあたり、より効果的なサガン鳥栖支援を実践する。

また、サガン鳥栖と鳥栖市が協調し、地域の活性化に寄与することを目的とする。

目標

- ◇ サガン鳥栖支援連絡調整会議による課題解決
- ◇ クラブ主催事業への協力
- ◇ 市主催事業等における連携（選手・マスコット派遣、各種事業への協力）

時期

- ◇ 会議開催は月1回程度
- ◇ クラブ主催事業は2016シーズン中

取組8 佐賀県プロサッカー振興協議会との連携事業

目的

サガン鳥栖支援を主な目的とする佐賀県プロサッカー振興協議会と支援の取組を共有することで、より質の高い取組の創出を行うとともに、効果的な支援の展開を図ることを目的とする。

目標

- ◇ 地域交流事業 ◇ 広報活動事業 ◇ 集客支援事業
- ◇ 筑後川流域クロスロード協議会の佐賀県プロサッカー振興協議会への加入

時期

2016シーズン中

取組9 九州Jリーグホームタウンとの連携事業

目的

Jリーグクラブのある九州内のホームタウンと手を取り合っ情報共有を図るとともに、具体的な取組を行うことで、九州全体の活性化を図ることを目的とする。

目標

- ◇ 九州Jリーグホームタウン連携会議による情報共有及び具体的取組の実施
- ◇ 九州だJ! 活性化協議会との連携
- ◇ 鹿児島市の九州JHTへの加入

時期

2016シーズン中

取組の進行管理

- ◇ この「サガン鳥栖支援アクションプラン Ver. 2016」を、本市が行なうサガン鳥栖支援の基本とします
- ◇ ホームゲーム集客支援本部は、目的達成のため『年間シート等のチケット購入斡旋』、『集客に関する事務』の2つの取組を、本プランの進行管理によって行います
- ◇ ホームゲーム集客支援本部は、原則として、前期開幕前（2月）、後期開幕前（6月）、シーズン終了後（12月）を定期開催とします
- ◇ 必要に応じて、本部長召集による緊急開催があります
- ◇ このサガン鳥栖支援アクションプラン Ver. 2016は、常に見直しを行い、シーズン毎に改訂していきます。Verは、そのシーズンを指します
- ◇ ホームゲーム集客支援本部の事務局であるスポーツ振興課は、取組みの成果と課題を常に明らかにし、ホームゲーム集客支援本部に報告します
- ◇ 取組みの成果等は、鳥栖市公式ホームページで公表します
- ◇ サガン鳥栖支援に関する重要な関係者とは、常に連絡を密にし、課題解決に向けた最善の連携を図ります

【事務局：鳥栖市健康福祉みらい部スポーツ振興課】